



平成 28 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社ユーザベース  
 代表者名 代表取締役社長（共同経営者） 新野 良介  
 代表取締役社長（共同経営者） 梅田 優祐  
 （コード：3966、東証マザーズ）  
 問合せ先 管理担当執行役員 村上 未来  
 （TEL. 03-4574-6552）

### 繰延税金資産の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 12 月期決算において下記の通り繰延税金資産を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、本年 10 月 21 日に『東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ』において開示いたしました、平成 28 年 12 月期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 繰延税金資産の計上について

当社の最近の業績等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、前期末には計上していなかった繰延税金資産を平成 28 年 12 月期において 64 百万円計上し、法人税等調整額を△64 百万円（△は利益）計上する見込みであります。

#### 2. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,045	153	117	83	12 61
今回修正予想（B）	3,076	238	215	248	37 36
増 減 額（B－A）	31	84	98	165	
増 減 率（％）	1.0%	54.9%	83.7%	196.8%	
（参考）前期連結実績 （平成 27 年 12 月期）	1,915	△332	△338	110	17 07

（注） 1. 当社は、平成 28 年 10 月 21 日付で東京証券取引所マザーズ市場へ上場いたしました。前回発表予想の 1 株当たり連結当期純利益は公募株式数（543,000 株）を考慮した予定期中平均株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数（110,400 株）は考慮しておりません。一方、今回修正予想の 1 株当たり連結当期純利益は公募株式数（543,000 株）及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数（110,400 株）、並びに上場後における新株予約権の行使に伴う増加株式数（7,776 株）を考慮した予定期中平均株式数により算出しております。

2. 平成 28 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 3 株の株式分割を行っておりますが、上記では平成 27 年 12 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算出しております。

#### （修正の理由）

当期の連結業績予想につきまして、「SPEEDA」事業、「NewsPicks」事業ともに売上が堅調に推移し、連結売上高は予想を上回る見込みとなりました。特に「SPEEDA」事業における契約 ID 数が順調に推移したこと

が売上増加に寄与いたしました。

一方、経費につきましては、「SPEEDA」事業におけるデータ仕入に関する新規投資を慎重にコントロールした結果、予想に比してデータ仕入高が抑えられたこと、採用活動を慎重に進めたことにより人員計画に比して採用のタイミングが遅れたこと等により経費が予想を下回りました。

上記に加え、「NewsPicks」事業が通期で黒字転換する見込みとなり、連結営業利益が前回発表予想を上回る見込みとなりました。

営業外損益につきましては、持分法による投資利益が想定を上回ったこと、当初見込んでいた株式交付費に関し実際発生額が低かったこと等により営業外収益は予想を上回り、営業外費用は予想を下回る見込みとなったため、連結経常利益が前回発表予想を上回る見込みとなりました。

また、「1. 繰延税金資産の計上について」に記載の通り、前回発表予想において見込んでいなかった繰延税金資産を本年度決算において一部計上する見込みとなったため、法人税等が予想を下回る見込みとなり、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を上回る見込みとなりました。

以上の結果、連結売上高、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回発表予想を上回る数値となる見込であるため、業績予想を修正するものではありません。

(当第4四半期の一時コストについて)

なお、当第4四半期においては、業績見通しが前回発表予想を上回る形で推移している状況を鑑み、「SPEEDA」事業におけるデータ仕入に係る一時費用の支出、並びに人材強化のための従業員への特別報酬や臨時研修に係る費用支出、上場に伴う体制整備のための一時投資に係る費用支出、及びM&Aに伴う専門家報酬等の費用支出等を行いました。

具体的な内容は以下の通りですが、これらはいずれも当第4四半期における一過性の支出となります。

上場・M&Aに伴う専門家報酬等の一時コスト	33百万円
特別賞与	15百万円
従業員トレーニング等	13百万円
「SPEEDA」データ仕入に係る一時費用	12百万円
オフィス一部増床・その他	4百万円
合 計	80百万円

以 上